

高齢者見守りで協定

熊本北合志署 弁当宅配会社と

熊本北合志署は29日、高齢者が安心して暮らせる社会の実現に向け、合志市で弁当宅配事業を展開する「サントリーライフサポート」と見守り活動に関する協定を結んだ。同社は同市を中心に約200軒の高齢者宅に弁当を配っている。その際、高齢者の安否や体調などを確認。固定電話の近くに「電話



高齢者の見守り活動に関する協定を交わした野尻保之署長(左)と橋本一郎社長＝熊本市北区(熊本北合志署提供)

で『お金』詐欺」などへの注意を呼び掛ける張り紙をするなど、犯

罪の未然防止にも力を入れている。

協定は、高齢者が行方不明になったり、災害に巻き込まれたりした時などに備え、非常時の連絡先や写真などの情報を共有。互いの連絡体制も強化する。

29日は、野尻保之署長と橋本一郎社長が協定書に調印。長尾義久副署長は「連携を密にして事件、事故の防止に努めていきたい」と話している。

(木村恭士)